



こかげ

長尾中図書通信
第 2 号

令和 2 年 5 月 28 日

発行：長尾中学校図書館



ようやく 新学期開始！

6月1日から12日までの2週間は助走期間。午前と午後に分かれての分散登校です。クラス全員がそろって授業が受けられる日まで、あともう少しの辛抱です。引き続き新型コロナウイルスに対する感染予防対策をキチンとしながら、徐々に生活のリズムを整えていきましょう！

図書館は、教室活動後15分間の特別開館です。水曜日の午後以外毎日オープン。全学年が利用可能ですので、学校帰りにぜひ立ち寄って、本を借りて帰ってください。

6月から「朝の読書」も始まります。学級文庫や図書館で借りた本をどんどん利用してくださいね。

「朝の読書」の取り組み方

「朝の読書」略して「あさどく」は、一日の始まりを心に刻む自主活動です。1時間目の授業からスムーズに取り組めるよう心と頭の準備をします。

- ① 8時30分のチャイムが鳴る前に、本を準備して着席しよう。
- ② 先生が教室を出て行かれてから1時間目の授業開始まで、自分の席を離れず、静かに本を読もう。
- ③ 読む本は、持参するか、学級文庫か図書館から借りたもの。但し、教科書・マンガ・問題集・新聞・雑誌はダメです。

【図書館特別開館中の利用法】

開館時間

午前の部 月～金
11:40～11:55

午後の部 月・火・木・金
16:00～16:15

- * 貸出 一人3冊まで
- * 返却 一週間後
- * 延長 読み終わらなかつたら一度返却してまた借りなおす

図書館に入る際には、マスク着用・手の消毒を忘れずに！ 人との距離を保って、おしゃべりは控えましょう。

利用者が20人以上になったら、入場制限することもあります。



どうして読書をすすめるの？

「緊急事態宣言が解除されたら、やりたかったことがいっぱい！新しい友達とラインやゲームでつながりたいし、テレビだって新番組が始まるし、読書なんて面倒なことできないよ」って思っている人、いますよね！ わかりやすい、その気持ち。なのにどうして読書をすすめるのでしょうか？

ゲームや映像は、体験した直後には強い満足感があります。けれどそれは、視覚の刺激からくる快感の方が多いためです。人は刺激にはすぐ慣れてしまします。一方、本を読むと、物語の筋を追いつつながらその情景を想像することで、主人公に共感しその体験を共有できます。そういった読書体験を繰り返すうちに、自分が困ったときの行動や、物事の良し悪しが自然と分かるようになります。世の中を渡って行ける確かな人間性を身につけることができるのです。

つまり、読書はあなたの生きる力を育てることにつながります。だから、感受性が豊かで柔軟な想像力を持つ若い皆さんに、毎日少しずつでもいいから読書を楽しむ時間を持つてほしいのです。

